

関係機関によるがん検診受診率向上の取り組みについて

資料1-1

取り組み項目		(1)がん				
指標項目	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値
			H22		H29	R5
			79.8		69.5	70.0
	2	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診の他、職場検診、 人間ドック等を含む)	基準値		実績値	目標値
			H23		H30	R5
			肺	19.9%	31.0%	40%
			胃	28.7%	38.9%	40%
			大腸	27.9%	37.4%	40%
乳			46.3%	48.9%	50%	
子宮頸	37.3%	42.6%	50%			
取り組み施策		概要				
1	発症予防	禁煙やバランスのとれた食事等がんに対する正しい知識の普及等を行い、がんの発症を予防する。				
2	早期発見	がん検診について、市民にわかりやすい情報提供や、企業や団体等と連携した啓発等をすすめることにより、がん検診の受診率向上を図る。				
3	情報発信・相談支援	がんサロンの支援やがんの治療、在宅医療に関する情報提供等を行い、患者や家族を支援する。				

1. 関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
1	学内を禁煙とし、試験期間中は朝食を格安で提供。【崇城大学】
	がん医療研修会を開催し、がん治療の理解を深める。(年数回実施)【市薬剤師会】
	シティFM放送「健康サロン」で禁煙についてアナウンスした。【県看護協会】
	発症予防のための食支援として、健康づくりのための食習慣の推進。【県栄養士会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象に、生活習慣病の予防に関する研修会を実施。また、喫煙の健康影響に関する研修会を実施予定【熊本産業保健総合支援センター】
	労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	がん予防、早期発見、早期治療、精密検査受診について、治療と仕事の両立支援の研修会の中で説明する。【熊本産業保健総合支援センター】
	小学校では体育科保健領域において、生活習慣病など生活行動が主な原因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身につける必要があること、喫煙や飲酒などの行為は健康を損なう原因になることを学習している。また、地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていることについても学習する。生涯にわたって心身の健康を保持増進できるよう学習に取り組んでいる。【市小学校校長会】
	粉じん作業及び特定化学物質、石綿等取扱作業を行う事業場に対する監督指導の実施。【労働基準監督署】
	生活習慣病予防(がん)の視点から、減塩の重要性や野菜摂取量を1日350gについて講習会やレシピ等の配布をボランティア活動の中で市民への啓発をしている。【食生活改善推進員協議会】
	東区保健子ども課、ささえりあ等の協力を得て、生活習慣病予防や高齢者にとってはフレイル予防を目的とし、「栄養」「運動」「社会参加」を基軸とした各地域での活動案を立案し、活動展開を計画。教室では「基本チェックリスト」「体力測定」等で現状把握し、各個人にあった「個人メニュー」を実施する。【東区代表】
栄養・運動・社会参加に取り組む。【北区代表】	
保健師からの情報をサロン活動や訪問時に伝えている。【西区代表】	

2	受診機会の喪失を防ぐべく、前年度の受診者に対して受診勧奨ハガキを送付。さらに精検未受診者に対して、精検勧奨ハガキを必要に応じて数回送付し、精検受診率の向上に努めている。【市医師会】
	検診ごとに専門医からなる委員会を設置し、年に数回会議を開催し、検診結果等について協議検討を行い、がん検診の受診率向上、精度管理の向上に努めている。【市医師会】
	加入者本人に対し、生活習慣病予防健診(肺・胃・大腸・乳・子宮頸がん検診含む)を実施。被扶養者に対し、特定健診とがん検診の同時受診勧奨DMを送付。【協会けんぽ】
	じん肺健康診断及び有害業務にかかる定期健康診断の確実な実施の指導。【労働基準監督署】
	食生活改善推進員協議会活動の中で、特定健診やがん検診について協議会内での啓発を実施。【食生活改善推進員協議会】
	職域におけるがん検診マニュアル、がんに関する情報をホームページ、メールマガジンに掲載。【熊本産業保健総合支援センター】
3	がんに関する基本的知識や化学療法、放射線療法などの治療について正しい知識を患者ケアに活かすための研修会を開催した。(令和2年8月28日 参加者看護職47名)【県看護協会】
	在宅療法を行うがん患者の退院支援の実際やQOL向上を目指したケアを提供するために看護職を対象に研修会を開催した。(令和2年10月1日 参加者看護職41名)【県看護協会】
	現在ターミナルケアの方の相談が増えてきているため、在宅医療との関係づくりや患者・家族との支援活動を続けている。【地域包括支援センター連絡協議会】

2. 関係機関・団体における今年度からの新たな取り組み

今年度の新たな取り組み	多くの委員が集まり研修を行う「熊本市スポーツ推進委員協議会全体研修会」が11月に行われる予定。その中で、「健康づくりの視点からのスポーツ」を意識した内容を取り入れる予定。【市スポーツ推進委員協議会】
	シティFM放送「健康サロン」でがんの早期発見のために「がん予防・がん検診」について、区役所の保健師からアナウンス予定【県看護協会】
	がん患者の在宅支援のため、抗がん剤や緩和医療のための無菌調剤を行う、共用できる無菌調剤室を会営薬局に設置した。また、共用のための必須研修として無菌調剤研修(2回)、実施研修(1回)を行う。【市薬剤師会】
	以前から計画し、コロナで延期していた研修会を開催予定。当センターに勤務していた職員が、5年前に在宅看取りをした事例を基に、在宅医療・訪問看護・家族や友人が発表し、グループワークをする予定。(地域住民・関係団体にも案内する予定)【地域包括支援センター連絡協議会】
	自治体、民生委員、老人会が協力し、武蔵では今年度から南公園で毎回40～50名位で朝ラジオ体操を行っている。出席簿も設け高齢者の安否確認にも利用している。参加者も増加傾向である。北区ホームページでも紹介している。【北区代表】
	胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査)を実施予定。陽性者に対してピロリ菌除菌を勧奨し、胃がんの罹患リスクを低減させ、死亡者数の減少につなげることを目指す。【市医師会】

3. 関係機関・団体における新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取組み	巡回検診において、スタッフを増員し受診者へのマスク着用の徹底や非接触型体温計による検温など、感染リスクの低減に努めている。またスタッフに対しては、毎日の検温など健康チェックを怠らないようにしている。【市医師会】
	歯科の受診控えがないように啓発する。【市歯科医師会】
	地域での調理実習等が思うようにできない状況なので、食改お勧めの生活習慣病予防のための簡単レシピを載せたリーフレットを作成し配布する。【食生活改善推進員協議会】

4. 行政における主な取り組み状況等

取り組み状況等	
1	食生活改善推進員養成講座において、生活習慣病予防の中でがんの予防として、バランスのとれた食事や野菜摂取、減塩等の知識の普及を行った。
	食品関連事業者への支援として、野菜摂取のポスター掲示や野菜レシピの配付等を行った。
	市政だより6月号においてバランスが良い食事の食べ方、食事作りを楽しむためのレシピの紹介などを行った。また、市公式LINEに野菜レシピを掲載し野菜摂取量アップの啓発を行った。
2	高齢者サロン、民協会議、民児協会議、自治協会議、社協ブロック会議、すこやか栄養セミナー、幼児健診、子育てサークル、健康まちづくり推進員会、8020推進員養成講座等を通して、がん検診等の啓発を実施した。
	高齢者サロン等において、生活習慣病の発症予防、重症化予防等の啓発実施。また、がん検診、人間ドック等の受診勧奨に関するチラシを老人会や町内での回覧を依頼。(高齢者支援センターささえりあ実施)
	年間重点啓発計画を立て、計画的に啓発活動・健康教育を実施した。
	シティFM放送で、口腔がん等に関する啓発や特定健診等での歯科検診受診勧奨、歯科保健の情報提供を行った。
	区内の企業に対し、従業員のがん検診受診勧奨のためのポスター掲示及び受診勧奨依頼を行った。
	各種がん検診について、特定健康診査健診受診券交付に併せてチラシを同封し受診勧奨の広報を実施した。(国保特定健康診査健診対象者約11万人)
	特定健康診査実施機関一覧において、受診可能ながん検診(胃、子宮、乳)も併せて掲載し、受診勧奨を実施した。
	市役所ロビー等などを利用した啓発ブースやイベント等の機会を活用し、受動喫煙に関する情報提供や日常生活における生活習慣病の予防法等について啓発を実施した。
	国の指針に基づき、肺・胃・大腸・乳・子宮頸がんの5種の検診を実施した。
	各種がん検診について、市政だより、市ホームページ、ラジオ等で受診勧奨の広報を実施した。
3	乳がん・子宮頸がん検診において、対象年齢となる偶数年齢者の受診期間を7月末まで猶予する特例受診許可証を発行した。
	令和2年11月～令和3年3月に大腸がん郵送検診を実施した。
	協会けんぽやがん対策協定企業等との連携による受診率向上のための啓発を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 協会けんぽ扶養者への特定受診券送付時に市がん検診の案内を同封 協会けんぽ加入者に、集団検診の受診勧奨を実施(植木・城南地区の集団検診) がん対策協定企業へ情報提供や広報を依頼
	がん検診対象者へ個別に受診勧奨通知を送付した。 <ul style="list-style-type: none"> 乳がん及び子宮頸がん無料クーポン券及び再受診勧奨はがき(乳がん・40歳女性:5,019人、子宮頸がん・20歳女性:3,617人) 大腸がん郵送検診はがき(満40・50・60歳になる市民:27,916人) 乳がん検診受診勧奨通知(満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性:40,104人) 子宮頸がん検診受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性:39,483人) がん検診のお知らせ(満62、66、68、70歳になる市民:37,809人) 乳がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(次年度満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性:41,607人) 子宮頸がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性:39,692人)
3	働き世代や子育て世代を対象にしたがんサロンを毎月1回開催し、がん患者を支援(令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)
	がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信等を行う「がんサポートセンター」を開設(平成25年7月1日)令和2年度の相談件数:72件
	相談支援業務において、在宅医療に関する情報提供や医療機関との連携を実施。(高齢者支援センターささえりあ実施)

5. 行政における今年度からの新規取り組み

今年度の新たな取り組み	「認知症とがんとをあわせ持つ終末期患者の療養支援を考える」をテーマに、地域包括ケアシステム推進会議の第三層協議体でワークショップを行い、住民目線で認知症・がん予防への意識付けをどのように実施するか考える機会を予定。 (高齢者支援センターささえりあ天明によって実施予定)
	10月から40歳代の方を対象に胃がんリスク検査を実施する。

6. 行政における新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取り組み	集団健診において、検診機関に消毒液・マスクの配布を行い、感染症対策に対応するスタッフを増員しながら実施している。
	自宅にいながら受診できる大腸がん郵送検診を、期間を延長して実施する。

※参考(1)

熊本市がん検診受診率(全人口による算出) 職場健診、人間ドック等は含まず

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
肺がん	対象者数	399,684	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170
	受診者数	25,127	22,861	22,579	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071
	肺がん受診率	6.3%	5.6%	5.5%	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%
胃がん	対象者数	399,684	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170
	受診者数	11,022	10,556	10,107	9,904	9,477	8,658	8,952	8,926	10,596	9,972
	胃がん受診率	2.8%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.3%	3.8%
大腸がん	対象者数	399,684	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170
	受診者数	24,708	22,670	22,467	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781
	大腸がん受診率	6.2%	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%
乳がん	対象者数	220,204	223,671	226,426	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142
	受診者数	13,124	12,036	11,837	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137
	乳がん受診率	11.2%	10.8%	9.9%	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%
子宮頸がん	対象者数	313,542	316,947	317,693	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681
	受診者数	19,936	19,017	18,678	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258
	子宮頸がん受診率	12.5%	12.0%	11.6%	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%

※参考(2)

無料クーポン利用率

(R2実績)

(単位:人)

対象者	利用者	利用率
5,019	1,340	26.7%
3,617	456	12.6%

※胃がん・乳がん・子宮頸がん検診受診率=(該当年度受診者+前年度受診者-2年連続受診者)/対象者数(胃がんはH28年度以降)

※対象者数は住基人口により算出。